

## エス・オー・エスこどもの村へのクリスマスプレゼント

2017年12月 会長 佐藤 武文

一昨年に続き、裏高尾にある児童養護施設エス・オー・エスこどもの村で12月3日(日)に行われたもちつき大会に伺い、子供達へクリスマスプレゼントをお渡ししました。

同施設は交通遺児を收容する目的で設立されたものであったが、現在はDVやネグレクトなどを原因として両親と同居できない子供達が主となっており、現在35名の子供が生活しているとのことでした。

もちつき大会は毎年12月の第1日曜日に開催され、子供達のみならず施設のOB・OG、

近隣町会の方々、近くにある老人施設の方々、そして中央大学のOBや留学生も加わる大規模なもので、今年も快晴の中、150名近くの方が参加し、いくつもの屋台が出て、もちのみならず、焼き鳥、豚汁、フランクフルト、おでんなどがふるまわれました。

当クラブからも私他3名の会員が参加し、おもちを頬張り、子供達の元気いっぱいのダンスを観て、楽しい時を過ごしました。

来年はより多くの会員に参加頂き、当クラブも何らかの屋台が出せればと思っています。



## 花植え活動

2017年10月 社会奉仕委員長 坂本 芳彦

10月27日(金)、当クラブは京王八王子駅周辺の街路樹に花々を植える活動に参加しました。これは地元の町会、商店会、小学校などが参加し、4年前より実施されてきた環境保護活動であり、10月27日(金)は今年2回目の活動とのことでした。

この運動は、駅前の街路樹の周りに雑草が生え景観が損なわれてきたことにより、社会福祉協議会の補助金を元に始まったとのことでした。今年でこれが打ち切られることを知り、当

クラブが援助することとなりました。

当日は快晴の中、当クラブの会員15名も参加し、第4小学校の児童と共に花植えを行いました。孫と同年齢の子供達と一緒に汗を流す会員も見られ、皆思い思いに時間を楽しみました。

環境保護はロータリーの奉仕活動の主要なテーマであり、地元に着したこのような活動はロータリー活動の原点とも言えるものです。今後も地元に着した環境保護活動が続けられればと思います。



## タイの公立小中学校でのレストルーム改修事業

2017年12月 国際奉仕委員長 橋本 幸一

当クラブでは、数年前より東京世田谷RC、東京国立RCと共に、タイのRCとジョイントして、タイのサラブリ地区などの公立小中学校のレストルーム改修事業を、地区およびロータリー財団の補助金を利用し行ってきました。

当クラブがサラブリ地区の公立小中学校への浄水器の設置事業を始めたのは、15年以上も前でした。当時タイでは急速な工業化のため地下水の汚染がひどく、他方上水道の整備が遅れていたため、井戸水を利用していた公立小中学校では飲用水の確保が困難となっていました。タイで勤務した経験のある当クラブの会員を通じて、タイ・サラブリRCよりこの事業の話があり、当クラブが協力し、浄水器を設置する事業が始まりました。以降9年間で100校近くの学校に設置を致しました。このような縁で現地RCと姉妹クラブを締結し、サラブリの公立病院へのベッドや医療機材の提供なども行ってきました。

そして、一昨年からは、それまでのサラブリの事業で協力関係にあった東京世田谷RC、東京国立RCと共同して、タイサラブリ地区他の公立学校のレストルームの改修事業を行うようになりました。

タイの経済発展は目覚ましく、バンコクは東京と変わらない賑やかさですが、やはり地方に行くと公立学校ではまだ衛生環境が十分でないところが多く見受けられます。そこで本事業が開始され、毎年10校程度で改修を行ってきました。



今年はタイ側の4クラブ、日本側の3クラブの合計8,000米ドルの現金拠出にロータリー財団からの補助金を合わせ34,000米ドルで11校のレストルームの改修を行う予定です。

現在、ロータリー財団への申請手続きを了し、財団の承認手続きが了するのを待っております。承認後、改修工事が現地で行われ、来年の4月頃には現地での贈呈式に参加するための視察旅行が行われる予定です。当クラブが参加するもうひとつの国際奉仕事業であるカンボジアの教育支援とともに、ロータリーの国際奉仕事業を理解する貴重な機会です。ぜひ会員の皆様の参加をお待ちしております。

